self-organizing-value-chain

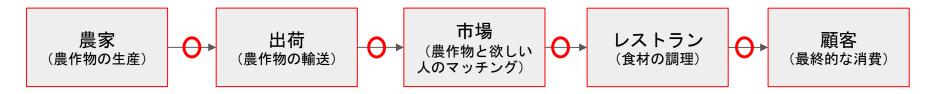
自己組織化するバリューチェーン

問題提起:現代社会を支えるもの



役割に特化した個人や組織の間で行われる「価値変換の連鎖」 value chain が現代社会の生産性を支えている

問題提起:現代社会の弱点



- value chainを構成する<mark>各要素□</mark>は自らの利益とコネクション○に縛られているため、value chain全体が硬直化しやすい。
- 顧客は硬直化したvalue chainが提供できるものしか受け取ることができないため多くの問題が残され、
- value chainを構成する組織の中にいる人は、組織がもつコネクションに制限された活躍と成長の機会を組織の中で奪い合うことになる。

1つの組織に過剰に利益を集約したり、特定の組織やコネクションへの依存性を高めないよう、 DAO(decentralized autonomous organization:分散型自律組織)をベースにしたvalue chainが構成できた としたら、どうなるだろう?

その時々で顕在化した問題に対してvalue chainが柔軟に伸びていく。社会の隅々まで編み目のように value chainが張り巡らされることで生じる多種多様な課題への取り組み機会が活躍と成長機会となり、多くの社会問題が解決できる状況ができると考える。これを実現するようなvalue chainをself-organizing-value-chainと呼ぶことにする。

仕組み

self-organizing-value-chainを実現するためには、生じた問題を解消するためのvalue chainが自動的に生成される必要があり、ここでは新規作成するvalue chainの設計と、組織や人員の割当てが必要になる。

- value chainの設計
 - value chain templateの作成
 - 既存のvalue chainをベースにしたデザインパターン、value chain templateを作る
 - value chain templateはそれぞれ解決しようとする「顧客の課題の種類」に向き不向きがある
 - value chain templateの選択

 - value chainの新規構築:解決したい問題に適したvalue chain templateを選ぶ 既存のvalue chainから枝分かれ:解決したい問題に適したvalue chain templateをいくつか選 び、その一部を切り取って既存のvalue chainに低コストで接続できるものを選択する
 - 既存のvalue chainの効率化:既存のvalue chainを短縮もしくは低コストにする要素をvalue chain templateの一部を適用することで実現できるか
- value chainの実装
 - 実装のためのリソース
 - スキルを持った人:自分が提供できるスキル、提供できる期間を記録したFTを発行し、自分 が等価と思える他の人のFTと交換する。
 - 備品を持った人:他人にレンタルできる車や電子機器、農具など、機種名と状態、提供できる 期間を記したFTを発行し、自分が等価と思える他人のFTと交換する
 - リソースの実装
 - 顕在化した課題に適したvalue chain templateが提案される
 - value chainの各要素にそれぞれの事業運営に適した組織templateと、備品templateが設 定され、それぞれ適したスキルFTと備品FTが提案される
 - 必要なFTは課題に直面している本人、支援者、投資リターンを見込む人がFT交換によ り収集する

value chainの新規構築

value chainの設計 - value chain templateの選択

【課題】

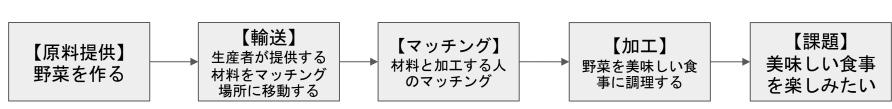
多少、高額なお金をだしてもよいから、美味しい中華料理が食べたい

課題の抽象化



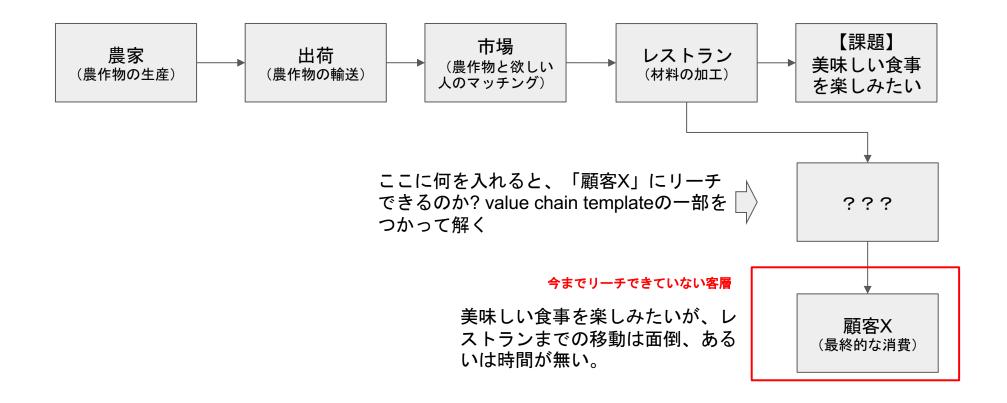


「課題」をキーにtemplate_____ を検索する



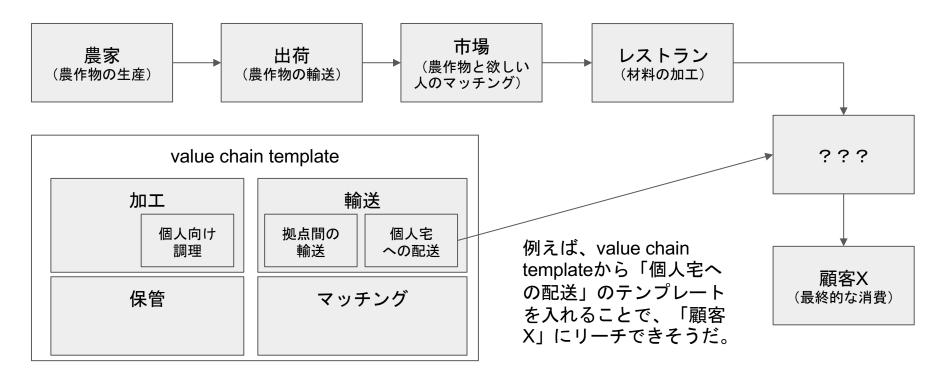
既存のvalue chainから枝分かれ

value chainの設計 - value chain templateの選択



バリューチェーンテンプレートの中身を実装(1)

「3-3. templateの一部を使い、既存のvalue chainから枝分かれを作る」の実装方法を考える



バリューチェーンテンプレートの中身を実装(2)

